

1. 本堂琵琶板の 修理状況

琵琶板には室町後期の墨書が多数記されているため、虫害部分には濡れ色等の出にくい木工ボンドを注入し、補強した。

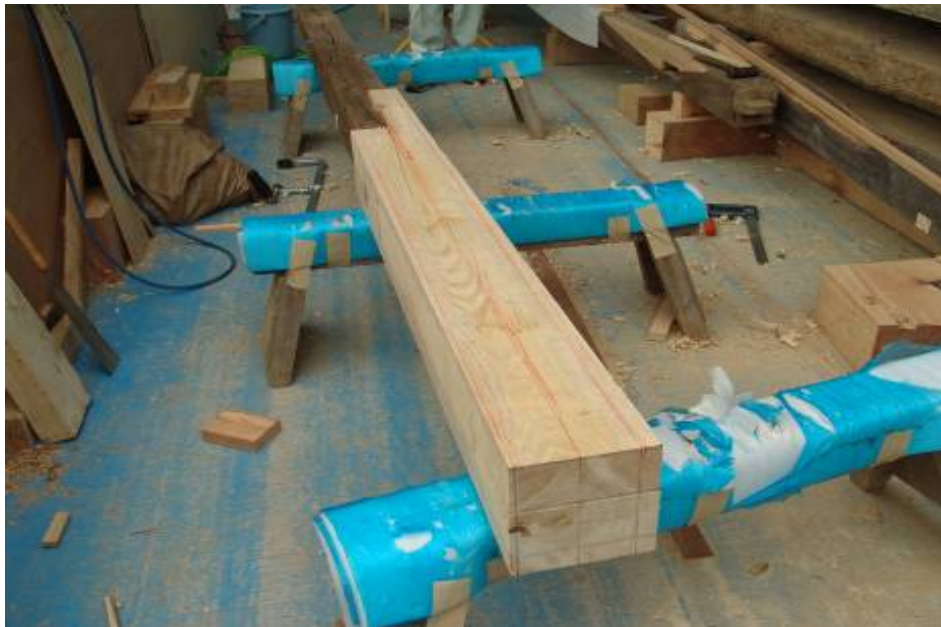
端部はエポキシ樹脂と人工木材で補修したほか、破損の著しい箇所は矧ぎ木修理をおこなった。



2. 本堂軒支柱の 継木修理状況

本堂軒支柱には、楠や栗などの雑木が多用され、捻れやいぼりなど狂いが顕著であった。

このため軒支柱の根継ぎ修理の際には、各部の納まりに矛盾が出ないように調整しながら、慎重に真墨を設定し施工している。



3. 本堂軒支柱礎石 周辺の発掘調査

本堂背面の軒支柱礎石直下には岩盤が確認された。また土層の取り合いから、各面の現状軒支柱および縁束礎石が当初に遡らないことが推定された。

